**2026年度　イノベーション創出に資する**

様式２

**次世代研究者エンパワメントプログラム申請書**

　　年　　月　　日

　私は、申請資格を確認の上、2026年度 イノベーション創出に資する次世代研究者エンパワメントプログラムに申請します。

基本情報（⑤については申請時、それ以外は2025年４月１日時点（予定）で記入のこと）*※□はチェックを記入*

|  |  |
| --- | --- |
| ①募集対象区分 | 2026年度募集（第１回）□博士後期課程　□博士課程 |
| ② |  | 生年月日 |  |
| ③住所 | 〒 |
| ④連絡先 | TEL: |
| E-mail: |
| ⑤現在の所属・学年（他大学所属者は、大学名から記載） | 　　　　　　大学　　　　　研究科　　　　　　　専攻　　　　　　年　　　　　　　　　　　　　学部　　　　　　　　学科　　　※下線部は当てはまるものに〇 |
| ⑥進学予定研究科等 | 　　　　　　　　研究科　　　　　　　　専攻　*（未定の場合は空欄）* |
| ⑦学籍番号 | *\*申請時名古屋市立大学在籍者のみ学籍番号を記入* |
| ⑧指導教員（他大学申請者は、大学名から記載） | [ ] 本プログラム申請について指導教員等の了承を得ている。 |
| ⑨支援期間中の奨学金等受給状況 | □支援期間中に下記の奨学金等の受給が決定していない・日本学術振興会の特別研究員/国費外国人留学生制度/母国からの奨学金制度 |
| ⑩支援期間中の収入制限への該当の予定 | □収入制限に該当しない※所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240万円/年）の安定的収入を得ていると認められる学生は応募できません |
| ⑪日本学術振興会特別研究員 | □申請予定　　□申請予定なし（理由：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ⑫学歴 | *学部卒業以降の学歴を記載してください。* |
| ⑬特記事項 | *既に受給している、受給することが決定している、又は申請中の奨学金等がある場合はその内容について、出産・育児等のライフイベント等により休学するなど学業を中断する予定がある場合はその期間について、記載してください。* |

*注：斜体の文章は、記載にあたっての留意事項等です。提出時には削除してください。*

募集要項をよく読み、指導教員ともよく相談して、本支援期間中で実施する研究計画及び目指す研究者像について以下の申請書に明記ください。尚、原則審査には応募者の専門と異なる教員も入ります。専門外の教員にも分かるような内容、表現で記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 【研究計画】（適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記述してください。なお、本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。10．5ポイント以上の文字で記載すること(以下同様)）(1) 研究の位置づけ1. 博士後期課程（博士課程）の本支援期間中で取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。
 |

*（注）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）から（４）の観点で審査を実施します。申請書から、以下が十分読み取れるような内容で作成するようにしてください。*

*（１）将来を担う優れた博士人材となることが十分に期待できること*

*（２）研究方法が独創的で、研究課題設定が適切になされていること*

*（３）当該分野における強みを生かした挑戦的研究能力があること*

*（４）博士号取得後のキャリアと標準修業年限内で培う能力等を自覚していること*

申請者登録名

|  |
| --- |
| 【研究計画】（適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可(以下同様)）(2) 研究目的・内容等　① 研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。　④ 所属研究室の研究活動との関連において、申請者が担当する部分を明らかにしてください。　⑤ 研究計画の期間中に異なる研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。 |

申請者登録名

|  |
| --- |
| 【研究遂行力等の自己分析】※各事項の字数制限はありませんが、全体で１頁に収めてください。本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における「自身の強み」について、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。本事業では、我が国の科学技術イノベーションに貢献する人材の育成を目的にしています。その目的に関して、すでにこれまでの活動経験から得た能力等があればこの欄に記載ください。 |

*（注）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、 コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするな ど、適宜工夫して記入してください。 なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

 **(1) 研究に関する自身の強み**

*（注）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。 成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。*

 *（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。） 著者、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年を記載してください。*

*（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。） 著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは 記載してもよい。）*

 **(2) 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

申請者登録名

|  |
| --- |
| 【目指す研究者像等】※各事項の字数制限はありませんが、全体で１頁に収めてください。本事業では、我が国の科学技術イノベーションに貢献する人材の育成を目的にしています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」と「博士号取得後のキャリアパス」(2) 「キャリアパス実現のため必要と考えている要素」と「実施した活動実績や今後予定している活動」を記入してください。また本事業では、異分野の研究や異文化を理解し、新たな概念や研究手法を産み出し、発信する能力の獲得についても目的としています。それらへの取組意欲や具体的な活動についても記載してください。 |

**(1)** **「目指す研究者像」と「博士号取得後のキャリアパス」**※目指す研究者像に向けて身に付けるべき資質も含め記入してください。

**(2)** **「キャリアパス実現のため必要と考えている要素」と「実施した活動実績や今後予定している活動」**

*・TOEIC・TOEFLの点数、海外留学の実績、海外共同研究等についても、実施実績があればご記載ください。*

申請者登録名